

東レエンジニアリング西日本は、Engineering と Maintenance の技量を武器に、安全で高品質な製品を提供できる安定成長企業を目指します。

新社長ご挨拶



このたび社長に就任することになりました北野真也と申します。この場を借りてご挨拶させていただきます。

前任の高田社長には取締役社長補佐としてサポート頂き、東レエンジニアリング西日本を、より成長した姿に進化させて行く所存です。具体的には以下目標の中長期的実現を目指します。

・施設事業・保全事業について

品質・工期・コストあらゆる局面で最高のパフォーマンスを追求し、東レグループ一員として“東レの強い設備力”を世に知らしめる。

現在構想中の施工面におけるサプライチェーン強化プロジェクト“SRP”により上記を中長期的に持続可能なものにする。

・外部プラント事業について

東レエンジニアリング（以下 TRENG）本体のプラント事業との密な連携により、医薬プラント分野、電子材料プラント分野などを中心とする強みを生かした提案型エンジニアリングを展開し、高益率を維持出来る体質造りを目指す。

・電製事業について

TRENG 第二事業部の LiB ライン向け盤製作に特化し、TRENG グループ全体としての LiB 事業成長に貢献する。これまでのオーダーメイド受注生産から同一製品計画生産にシフトすることにより生産効率アップ、負荷平準化を目指す。

末筆になりますが、何事も理想が先走り過ぎると空回りします。従業員各位、更にはステークホルダー各位と密に対話しながら「千里の道も一歩から」を座右の銘に一步一步着実に進める所存です。

代表取締役社長 北野真也

11月21日 全社職場代表協議会開催



当社では「従業員代表制度」を導入し、年2回（5月・11月）、全社職場代表協議会を開催しています。この協議会は、職場の声を経営陣と共有する大切な場として、労使間の意見交換や調整を行っています。今回の協議会では、まず経営陣より会社の現状や運営方針、労働時間管理の取り組みについて報告がありました。続いて、各職場から寄せられた要望や質問をもとに、職場代表委員と経営陣との間で活発な意見交換が行われ、より良い職場環境づくりに向けた前向きな議論が交わされました。

（担当部署：総務部 077-534-0956）

11月7日 GT活動 報告会開催



当社は中期経営課題達成のためのツールとしてGT活動に取り組んでおり、毎年活動成果を全社に水平展開すべく、全社活動報告会を開催しています。

この報告会は、各部署の代表サークルが自部署の改善内容や成果について報告するもので、今年は4サークルの特色ある取り組みについて、それぞれ工夫を凝らして報告しました。

報告者は、社長・役員からの報告内容に対する質問に答え、さらに改善に繋がるようアドバイスを受けました。サークルメンバーにとってもモチベーションアップに繋がり、また聴講した社員にも今後の活動の参考になる報告会となりました。



滋賀保全事業部



愛媛保全事業部



プラント事業部



電製事業部

(担当部署：GT推進室 077-534-0956)

モノづくり DXの推進や生産効率の向上 エンジニアリング事業本部 電製事業部

電製事業部は、園山機器組立工場を拠点とし、制御盤の設計・製作を主力商品としています。お客様からの受注後は、制御盤の設計と、部品調達・組立・完成品検査・出荷を行っています。モノづくりDXの推進や生産効率の向上を進めており、東レエンジニアリングからの支給品や当社調達品の受入れ業務にOCRを導入し、購買番号の手入力ミスをゼロ化し業務効率が向上しました(図)。

製造グループでは、生産効率を向上させるために、作業をビデオで撮影し、ムリ・ムダ・ムラ・無価値作業を関係者で抽出し、改善に努めています(GT活動)。

検査チームでは、不適合の集計アプリ(SFA版)を作成し、データ入力や集計も容易にしました。現状約1,200件の情報が蓄積され、製造品質向上に貢献しています。

